

事業の概要及び再評価に係わる資料

事業名	県営農業用河川工作物応急対策事業			地区名	はわいげき 羽合堰		事業箇所	倉吉市			
再評価の対象理由	事業採択後5年を経過し継続中のため										
未着工又は事業が長期化している理由等	天神川漁協との協議で河道内での作業が12月1日～4月20日の間に制約されたこと、また河川管理者との仮締め切り工法の協議により、当初3年工期の計画であったが、6年工期(河川内施工H23～H28)に延期せざるを得なくなったため。										
事業の概要	事業目的	羽合堰は490haの農地をかんがいする重要な取水施設であるが、経年劣化による堰体等の損傷が著しく、洪水時に河川堤防の決壊を招く恐れがあるため、緊急に補修等の改善措置を講じ、農業用水の安定供給を図るとともに、堤防決壊による用水路流域の人家、工場、公共施設に及ぼす浸水被害を未然防止する。									
	事業実施内容	堰体補修L=254m、土砂吐樋門補修1式									
	受益面積	水田	391	畑	99	樹園地等	—	合計	490 ha	受益農家数 1,278戸	
	事業費の負担区分	(国) 55% (県) 37% (市) 8% (地元) — %									
事業の進捗状況	事業採択年度	H22		工事着手年度	H22		完成予定年度	H28		事業期間	7年
	当初全体事業費	3.3億円				投資事業費	2.5億円				
	現在全体事業費	3.4億円					進捗率73.5% (H26年度末)				
	事業進捗状況	堰体補修L=189m、土砂吐樋門補修1式									
	一連の整備効果の発現状況	土砂吐樋門の補修完了により、洪水時の可動不具合が解消され洪水時の緊急的な対応が可能となった。 また、頭首工は全延長254mのうち189mの補修が完了しており、残区間の早急な対応により事業効果の発現を目指す。									
事業を巡る社会経済情勢等の変化	現状での課題	特になし									
	地域の協力体制	受益農家及び周辺住民の協力は得られている。									
	関連事業との整合の変化	H22～24 羽合用水地区基幹水利施設ストックマネジメント事業 H26～30 羽合浜地区特定農業用管水路等特別対策事業									
	地域の事業に対する社会的評価	天神川下流右岸平野部農地の唯一の水源であり、農業用水の安定供給と堰から取水する用水路沿線の人家、工場、公共施設の浸水被害防止に対して、関係農家及び周辺住民の改修への期待は大きい。									
	その他	特になし									
費用対効果分析の要因の変化	(費用) 物価上昇による事業費の増(自然増)	12百万円									
	(効果) 新たに追加した項目なし										
	(総費用総便益費)	2.02 (H22) で変更なし									
コスト縮減等	①護床工(木工沈床)補修の詰石は、再利用と河川内採取により購入量を低減している。 ②仮締め切り堤の盛土として、最も近距離の河川堆積土砂を使用できるよう河川協議済み。										